

編 集 後 記

秋も深まり、読書にうってつけの季節となりました。暖かい室内で本の世界に没頭するのは至福の時です。文字をもつことにより、ヒトはその場にはいない誰かに、複雑なことを伝えられるようになりました。文字を記す方法としては、石に刻んだり、木簡に書いたりする時代から、紙への筆記、印刷技術の発明と発展、電子機器の活用に至るまで大きな変遷がありました。それに伴い、文字情報の伝達速度も飛躍的に早くなってきました。飛脚や馬が文書運んでいた頃は、国内でも何日もかかることもありましたが、乗物による運搬になり、いまやインターネットを利用すれば、即時に海外まで文章を送ることができます。

このような流れを受けて、学術雑誌も電子化されるようになってきました。本誌も紙媒体による雑誌と電子版の併用を経て、電子版のみになっています。電子版の長所は、検索のしやすさだけでなく、インターネットにつながっているところであれば世界どこからでもアクセスできる伝達しやすさにあります。また、投稿時の表や画像の準備も楽

になり、公開までの時間も短縮されました。本誌は早期公開を実施していますので、論文が受理されて時間をおかずに読むことが可能です。

さらに、電子版になったことで本誌にも supplemental video を付けることができるようになりました。今は大きなカメラやビデオを用意しなくても、スマートフォンなどで手軽に写真や動画を撮れる時代です。言語化しにくい症候を伝えるために、ぜひご活用ください。たとえば、不随意運動などは見てはじめてわかるものが多いと思います。

このように情報が伝わるしくみや速度は随分と変わってきましたが、もっとも大切なのは何を伝えるかということです。日々の臨床のなかでこれほと思う事柄をぜひ見つけ出し、論文としてまとめてご投稿ください。文字として残せば、半永久的に伝えることができます。文字をもつ唯一の生物として、映像など新たな情報も加えつつ、知見を積み重ねていきましょう。

(鈴木 匡子)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」	第58巻 第11号	平成30年11月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		戸 田 達 史
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>